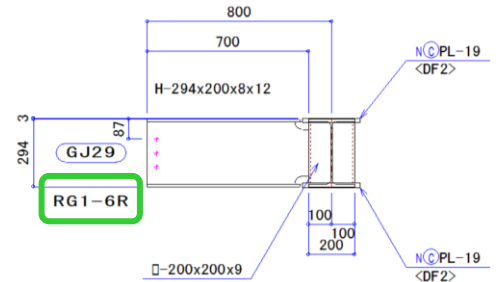





仕口加工指示書にブラケット符号名を表示させたい！

「パラメーター」で設定ができます。



【ファイル】 - 【パラメーター】 をクリックします。

【加工図作成】 - 【24.仕口加工指示書-柱詳細図】 - 3) ブラケット符号 の  をクリックし、
ブラケット符号設定画面で『鋼材符号名 (#2)』 に設定してください。

ファイル

- 工事管理
- 保存
- パラメーター**
- データ再構築
- レイヤー設定

作図パラメーター設定(工事名: Step3 入力テスト1)

印刷 工事別 共通 項目別読み込み 書き込み 書き込み すべて展開 すべて表示 指定表示 指定表示設定 検索 終了


お気に入り・履歴 お気に入りに追加 お気に入りにデータの並び替え お気に入りに設定 工事別パラメーター: 24 仕口加工指示書 - 柱詳細図

項目名称	設定値
1 作図間隔4<mm>	0
2 符号 サイズ出し方法	2 - 角度付きのみ
3 ブラケット符号	#1
4 継手マーク位置	1 - ボルトのみ
5 梁継手	1 - ボルトのみ
6 梁継手マーク位置<mm>	0
7 仕口接続部材寸法基準	1 - 通り
8 継手ボルト情報	1 - なし
9 通りマークの前後名	1 - 通り名
10 柱フランジ面表示	2 - あり
11 ブラケット勾配寸法	2 - あり
12 ブラケットサイズ表示	1 - 鋼材表記
13 ボルト第1穴寸法	2 - あり
14 ピン接ボルト第1穴寸法	2 - あり(柱面)
15 既製品プレースの位置寸法	2 - あり

ブラケット、溶接梁、溶接胴縁の符号の表示方法を選択します。

#1: 部材名 #2: 鋼材符号名

使用例: #2 (#1)



ブラケット符号設定

#2

・漢字、アルファベットも入力可能です。

部材名(#1) **鋼材符号名(#2)**

- () < > クリア

OK キャンセル



パラメーターは仕口加工指示書出力画面内のファイルからも開くことができます。

加工指示書出力画面からパラメーターを開いた場合は加工指示書関連のパラメーターのみ表示されます。

仕口加工指示書

ファイル

- パラメーター(R)**
- CSV出力(Q)
- 使用する用紙ファイルの編集
- バージョン情報(A)
- 終了(X)

加工図作成

工事別パラメーター

- 19.加工指示書・検査表 共通パラメーター
- 20.切断孔明加工指示書
- 21.コア加工指示書
- 22.仕口加工指示書
- 23.仕口加工指示書 - 詳細図全般
- 24.仕口加工指示書 - 柱詳細図
- 25.柱梁加工指示書
- 26.組立加工指示書
- 27.組立加工指示書 - 詳細図全般
- 28.組立加工指示書 - 柱詳細図
- 29.プレース加工指示書
- 30.プレース加工図
- 31.展開材組立図
- 33.検査表
- 36.柱切断明細図